



SYLVESTER STALLONE

F.I.S.T.

〈ロッキー〉の
シルベスター・スタローン
フィスト F.I.S.T.

メリンダ・ティロン
ロッド・スタイル
ピーター・ボイル
製作・監督ノーマン・ジュイソン
脚本ジョー・エスター・ハズ/シルベスター・スタローン
音楽ビル・コンティ◆サントラ盤コナイトレコード
原作サンリオ刊くカラー作品

United Artists
A Transamerica Company
ユナイテッド・アーティスツ

*彼のひと声で
全米三百万台のトラックが止まる!

マフィアも大統領も
その巨大な権力(ライスド)に震え上がった
若き指導者ジョニーの
愛と戦いと挫折の日々……

★待望、「ロッキー」のスタローンが、風雲のトラック野郎リーダーとして戻って来た！「ロッキー」で全世界のファンに感動のパンチを浴びせたシルベスター・スタローンの人気・実力はやはり本物だった――。

「FISTフィスト」——「ロッキー」に続く注目の主演第2作で彼が挑むキャラクターは、ジョニー・コバック。全米トラック野郎のユニオン“FIST”の若きリーダーとして、傲然と資本と権力に牙をむき、遂には全米最強最大のパワーを持つ労働運動指導者にのし上がつてゆくガツツな野郎。何よりも戦う仲間を愛し、妻を愛し、友を愛した男の鮮烈な生涯をダイナミックにとらえた異色伝記だ。

監督「屋根の上のバイオリン弾き」の巨匠ノーマン・ジュイソン。共演ロッド・スタイルガ、ピーター・ボイル、メリンド・ディロン。音楽ビル・コンティ。

「ロッキーは結局は敗者。しかしこバッカは生まれながらのキングだ」とスタローンが語るジョニー・コバッカとは一体どんなヒーローなのか!?

★愛し、戦いぬき、大統領にも匹敵するパワーを擰みかけてコバッカは闇と消えた…

ジョニー・コバッカ。中部ヨーロッパ・ハンガリー生まれ。幼くしてアメリカの土を踏み、クリーブランドのスラムで苦い青春を送った。

1930年代。コバッカは持ち前のタフな行動力でトラック野郎たちの先頭に立ち、権力への挑戦を公然と開始した。

1940年代。戦いの手を決してゆるめようとしないコバッカ率いるFISTは、凄まじい勢

フィスト F.I.S.T.

〈カラー作品〉 ユナイット映画

●スタッフ●

製作・監督……………ノーマン・ジュイソン
脚 本……………ジョー・エスター・ハズ
原 案……………シルベスター・スタローン
撮 影……………ラズロ・コバックス
音 楽……………ビル・コンティ

いでその力を増大していった。

1950年代。ワシントン政界も恐れをなす全米最強のユニオン・リーダーとして巨大な権力の中核に座したコバッカ。しかし、その戦いの黒い部分にメスを入れようとする一人の野心家上院議員の動き、さらには一度は手を握ったマフィアとの勢力争いのもつれが、コバッカの栄光を根底から搖さぶろうとしていた――。

★逸材スタローンを得て、名匠ジュイソンが精魂傾けた男の肖像！

「ロッキー」同様、脚本にも加担してやる気満々のスタローンと、「夜の大捜査線」「華麗なる賭け」「屋根の上のバイオリン弾き」「ジーザス・クリスト・スーパースター」等過去幾多の名作を手がけてきた名匠ノーマン・ジュイソンの協同作業が見事な結実を見せ、感動を呼び大型娯楽ドラマである。

開巻、スタローン率いるFISTの面々と資本家側暴漢との力と力の激突シーンから、終盤、スタローンとロッド・スタイルガによる公聴会を舞台とした凄絶な舌戦シーンまで、往年のワーナー・ギャング映画スタイルを思わせる叩みかける迫力シーンの連続が、2時間10分の長さを決して感じさせない。スタローンの強烈な個性とジュイソンの男性的タッチが、激動アメリカ社会が生んだ一人の桁外れのヒーローを70年代のフィーリングで鮮かに生き返らせている。

★心搖さぶる哀調のメロディに乗った
ベストテン級問題作！

「エリア・カザンの名作“波止場”をしのぐ傑作」「“ゴッドファーザー”以来最もパワフルなアメリカ映画」

全米マスコミの熱っぽい賞讃を浴びて、興行界はいま「FIST」の話題でもちきり。超満員の各劇場とも、ファンは「ロッキー」に勝るとも劣らないスタローンの素晴らしい男振りに酔いしれている。加えてビル・コンティの音楽面の功績。全編を包む正統ハリウッド調メロディが「ロッキー」以上に泣かせ所を心得て、早くも大ヒットのキザシを見せている。

●キャスト●

ジョニー・コバッカ……………シルベスター・スタローン
アンドルー・マディソン上院議員……………ロッド・スタイルガ
マックス・グレアム……………ピーター・ボイル
アンナ・ゼリンカス……………メリンド・ディロン
エイブ・ベルキン……………デイビッド・ハフマン
ペイブ・ミラノ……………トニー・ロー・ビアンコ

近日話題の大ロードショー！

●特別鑑賞券￥1000好評発売中！

松竹セントラル (541)
2714

上映時間 [連日] 11:00 1:40 4:20 7:00